

全国高校生建築提案コンテスト 2026

きみの生きた創造力が、
新しい世界を組み立てる。

テーマ
「ととのう建築」

【応募締切】

10月25日(日)

※消印有効

〈応募受付は10月1日(木)より〉

秋田県立大学では^{*}高校生の皆さんに、未来の生活における建築の姿を考える機会を持っていただこうと、2007年から「高校生建築提案コンテスト」を開催しています。

※高校生(高等専門学校の場合は在籍3年以下の学生)

[開催案内ページ](#)



賞と副賞

最優秀賞(1点) □賞状 □図書カード3万円 □記念品

優秀賞(2点) □賞状 □図書カード2万円 □記念品

佳作(5点程度) □賞状 □図書カード5千円 □記念品

奨励賞(数点) □賞状

※グループ応募の場合、賞状・図書カードは1点のみとし、記念品は人数分授与します。

「ととのう建築」

記念すべき20回目となる今回は「ととのう建築」をテーマに、建築的なアイデアを募集します。

私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。気候変動への対応や持続可能な社会の実現が世界共通の課題となっており、建築分野においても環境負荷の低減や資源循環が強求められています。同時に、コロナ禍を経験した私たちは、日々過ごす空間の質が心身の健康に直結することを実感しました。ストレス社会と言われる現代において、ウェルビーイング(心身の良好な状態)への関心は高まり続けています。つまり今、建築には地球環境と人間の健康という二つの「環境」を同時に「ととのえる」ことが求められているのです。

では、建築における「ととのう」とは何を意味するのでしょうか。近年、サウナシーンでよく聞くようになった「ととのう」という言葉には、元来、物理的に秩序ある空間を創り出すという意味があります。一方で、同時に人の心身が調和のとれた状態になる、環境と建築が持続可能な関係で整う、といった多層的な意味も込められています。サウナで体感する「ととのう」感覚が心身の調和を意味するように、建築空間もまた人々を心身ともに「ととのえる」力を持ちうるのです。採光や通風、温熱環境といった建築の基本性能を見直すこと、自然との共生や資源の循環を考えると、利用者の心の安らぎや身体の健康を支えること—これらすべてが建築における「ととのう」ことにつながります。

このような視点から、人々の心身を健やかに保ち、環境との調和を図りながら、持続可能な未来へとつながる建築のあり方を考えてみてください。現代の建築が抱える課題を整理・分析した上で、「ととのう」という言葉をキーワードに次世代の建築を柔軟に提案してください。空間の質、環境性能、利用者の健康、そして地球環境への配慮—これらが調和した意欲的な提案を期待します。

応募規定

A B は部門ではありません。同等に審査します。

- コンテストのテーマ・主旨を踏まえた提案をしてください。
- 作品には必ずオリジナルの作品タイトルをつけてください。
- **A** プレゼンボードフォーマット、**B** 論文フォーマットのどちらかの提出形式を選んで作品をまとめてください。

A プレゼンボードフォーマットの場合

(設計作品、調査、活動のポスター表現、など)

● **A2版 厚手紙1枚**

A2版のケント紙など厚手紙1枚にまとめる、もしくはプロッター等でA2版1枚に出力してください。ロール紙は普通紙厚手を推奨します。

- 複数枚提出は認めません。複数枚を組み合わせた場合はA2版ケント紙に貼り付けるなどして、**必ず1枚で提出してください。**
- 模型、音声、映像の提出は受け付けません。
- 作品タイトルは必ず作品中に記載してください。
- 図面、写真、文章等を自由にレイアウトして作品をまとめてください。(図面や写真の点数、文章の文字数などに制限はありません。ただし、見易さも評価されますので、小さすぎないように注意してください。)
- 手描き、CAD、着色などの表現も自由です。

B 論文フォーマットの場合 (調査研究の論文などのフォーマット)

- A4用紙8枚以内
- 作品タイトルは、最初の行に記載してください。
- 本文は、作品タイトルから1行空けて書き始めてください。
- 章、節を設けて構成してください。
- 図、表には番号を付けて、文章中に表し、適宜レイアウトしてください。
- 文字数は、1枚につき、図、表を含め1,200字程度としてください。
- 参考文献は、最後にまとめて記載してください。
- 各ページにページ番号をつけ、ページ左上をホッチキスでとめてください。
- 文書作成ソフトなどの他、手書きでもかまいません。

【注意事項】 ● 提出作品には、応募者の所属学校名や氏名等がわかる内容を一切記入しないでください。 ● 一度提出のあった書類、提出物は一切返却できません。必要であれば事前にコピーをとるなどしてから提出してください。 ● 生成AIは、アイデアの発想補助や資料収集など制作過程における補助的な利用に限り認めます。生成AIの出力結果をそのまま、または軽微な修正を加えただけで作品として提出することは認めません。応募作品には応募者自身の創作的関与が必要です。 ● 生成AIを補助的に使用した場合は、使用したツール名称と使用目的を明記してください(例: ChatGPTを用いてアイデア出し支援)。 ● 著作権、肖像権、パブリシティ権など第三者の知的財産権を侵害しないよう、応募者自身の責任において十分に配慮してください。第三者との間で権利に関するトラブルが発生した場合は、応募者自身の責任において解決していただきます。 ● 出版物及びインターネット等に掲載された情報を引用する場合は、必ず引用元を示してください。 ● 上記の生成AI利用規定や権利侵害等の違反が認められた場合は、入賞決定後であっても受賞を取り消すことがあります。 ● この応募要項にない事項は、すべて応募者の判断によるものとします。質疑応答は行いません。

提案参考例

※提案例に沿った内容を高く評価するわけではありません。

- 心身の健康を支える学校・オフィス・福祉施設の提案
- 自然エネルギーを活用し資源循環を実現するサステナブルな住宅・集合住宅
- ウェルビーイングを高める公共空間(図書館、コミュニティセンター、公園等)の提案
- 地域の気候風土と調和し、利用者の心身を「ととのえる」滞在型施設(温浴施設、宿泊施設、リトリート施設等)

建築コンペ初心者の方を対象とした資料や過去の受賞作品を本学ホームページにて後日公開予定です。また、2026年7月に対面・オンラインを併用した説明会を開催予定です。説明会日程の詳細については、後日、本学ホームページにて詳細を発表します。応募してみたいけれどプレゼンボードや論文の構成の仕方がわからない、応募予定の方や指導方法に不安がある先生方は是非ご覧ください。メールアドレスを登録いただいた方には、説明会の詳細が決まり次第本学より連絡をさせていただきます。

説明会登録
フォーム



※説明会について参加は必須ではありません。また説明会の出欠が審査結果に影響することはありません。なお説明会では出席予定の作品に対する指導等も行いません。

審査基準

現代の人々の要望、あるいは社会の問題点などを踏まえつつも、**従来の概念や常識にとらわれない、自由な発想の建築的アイデアを重視**します。実現の可能性は低くても、身近な問題意識を踏まえた若者らしい発想にもとづいた提案が望ましいといえます。表現方法についても、提案に適した表現方法がとられていることが望ましいものとします。審査はテーマを出題した教員らを中心に、建築環境システム学科教員により選考委員会を組織して行います。

1次審査を通過した作品に対して最終審査を行い、受賞作品を決定します。なお、1次審査を通過した作品に対しては、選考委員会より個別作品評をお送りします。

応募方法

- STEP 1** 作品応募フォームから、作品ごとに応募情報を入力
- STEP 2** 入力結果がメールにて通知
- STEP 3** プリントアウトして、応募作品と一緒に送付し提出
グループなど複数名で1点の応募も可能です。

作品応募
フォーム



結果発表

12月18日(金)

大学ホームページにて発表

発表では、作品タイトル・応募者の学校名・学年・氏名を掲載します。

※入賞作品や応募作品を掲載した図録等の作成は予定しておりません。なお、応募作品は返却いたしませんので、ご注意ください。

応募者の個人情報については、本コンテストの実施・運営のために利用するほか、秋田県立大学に各種情報提供の目的にのみ使用します。また、受賞者の学校名、学年、氏名、作品のデータについては、報道機関に情報提供される場合があります。応募作品は本学のオープンキャンパスや大学祭等での展示や、大学の広報関連冊子などで利用する場合があります。あらかじめご了承ください。

送付先・お問合せ

秋田県立大学 本荘キャンパス事務局 総務・企画チーム
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2194

E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp

大学HP <https://www.akita-pu.ac.jp>

大学HP



建築環境
システム学科
運営ページ

